

生物多様性を守ることは SDGsの達成につながります！

地球規模で人や物が移動するグローバル社会では、生物多様性などの地球規模の課題は世界全体の経済成長や社会問題とも密接に関わっています。

このような地球規模の課題を解決し、持続可能な社会を実現させるために、2015年9月の国連サミットにおいて17の「SDGs（持続可能な開発目標）」が採択されました。

生物多様性を守ることはSDGsの達成のための重要なアクションであり、生物多様性を含む環境保全に経済、社会、環境の3つの側面から統合的に取り組む必要があります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



名古屋市は2019年7月に「SDGs未来都市」に選定されました。

名古屋市環境局

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号

TEL 052-972-2684 / FAX 052-972-4134

メール a2684@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

名古屋市公式ウェブサイト <http://www.city.nagoya.jp/>

[生物多様性](#)

[サイト内検索](#)



わたしたちの暮らしは、
世界中のさまざまな資源を消費することで成り立っています。
しかし、こうした私たちの暮らしを支えるために、
世界の生物多様性が危機にさらされています。
世界の生物多様性とわたしたちの暮らしを守るために、
いま、できることを考えてみませんか？

■生物多様性って何?

生物多様性とは、**生きものや生態系の豊かさ**を表す言葉です。

地球上には、森、里、川、海など様々なタイプの自然があり、その中に3,000万種といわれる多様な個性をもつ生きものがいます。

人口230万人を擁する大都市である名古屋では、市街地の拡大により、生きものたちのすみかはかなり少なくなってきたが、東部丘陵の大規模な緑地やため池、河川などを中心に、この地域固有の希少な種を含む6,500種近い生きものが今も暮らしています。

3つの生物多様性

生態系の多様性

大都市名古屋にも、樹林やため池、農地、河川、干潟など様々な生態系があります。



南陽町の水田地域(港区)



東部丘陵の樹林(千種区)

種の多様性

様々な種類の生きものによって、名古屋の生態系が支えられています。



シラタマホシクサ

※シラタマホシクサやヒメタイコウチは、名古屋周辺で見られる希少な生きものです。



ヒメタイコウチ

遺伝子の多様性

同じ種でも形や模様、生態などに多様な個性があります。



アサリ

アサリの模様は
1つずつ
違います。

写真提供:新美 貴資

■わたしたちの暮らしに関係あるの?

たべもの

米、野菜、肉、魚介、果物などあらゆる**生きものの「いのち」**をいただいています。



環境

上流域の森林では、雨水が地中に貯えられることにより洪水が抑制されるとともに、**安全でおいしい飲み水**がつくられます。

くすり

漢方薬や鎮痛剤など、**生きものから抽出した成分**を使って、数多くの医薬品が作られています。



衣服

綿や麻、絹や羊毛など**生きものから採取した繊維**を多く使っています。



住まい

日本の住居には、木材や畳など**植物由来の建材**が多く使われています。



わたしたちの暮らしは、たべものや飲み水など、いろいろなかたちで生物がもたらす恵みに支えられているんだね。

わたしたちにできることは?

生物多様性がわたしたちの日々の暮らしとつながっていることを感じてみましょう。まずは身近なことから始めてみませんか?

生物多様性を守るために5つのアクション

生物多様性を守るために、私たちにできるアクションを5つにまとめました。生物多様性の恵みを受け続けられるように、一人ひとりが行動しましょう!

- **Act 1**  地元でとれたものを食べ、旬のものを味わいます。
- **Act 2**  自然の中へ出かけ、動物園、水族館や植物園などを訪ね、自然や生きものにふれます。
- **Act 3**  自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、写真や絵、文章などで伝えます。
- **Act 4**  生きものや自然、人や文化との「つながり」を守るため、地域や全国の活動に参加します。
- **Act 5**  エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を選んで買います。



自然を守るということは、結局は巡り巡って私たちを守ることになります。自然に感謝し、自然に親しんで、豊かな自然や生きものの恵みを未来につないでいきませんか?



Act 1 たべよう

地元でとれたものを食べ、旬のものを味わいます。



旬の食材を味わって、むかしから日本人が大切にしている季節感に関心を寄せてみましょう。

愛知で多く生産される食材の一例

地元でとれるもの!

農業

イチジク・キャベツ・シソ
トマト・フキなど

漁業

アサリ・シラス・アナゴ
クルマエビ・タイなど

旬の食材の一例

旬のもの!

春

ミツバ・タケノコ・イチゴ
フキ・アサリなど

夏

エダマメ・トマト・オクラ
シジミ・アユなど

秋

イチジク・ギンナン・サツマイモ
サンマなど

冬

ダイコン・ホウレンソウ・ハクサイ
ユズ・ブリ・カキ(貝)など

旬の食べものは
おいしくて、
栄養も豊富なんだね。



キュウリやナスなどの夏野菜
は体を冷やしてくれて、
カブやネギなどの冬野菜は
体を温めてくれるんだよ。

近くの農地や漁場も、生きものにとって重要な生息・生育地となっています。
地産地消 地域で生産されたものをその地域で消費すること
旬産旬消 旬のものを旬の時期に消費すること

Act 2 ふれよう

自然の中へ出かけ、動物園、水族館や植物園などを訪ね、自然や生きものにふれます。

川沿いや公園をゆっくり散歩してみると、多くの自然を感じることができるかもしれません。お気に入りの自然スポットを見つけてみてください。

名古屋市内の街路樹



街路樹や家庭菜園も貴重な生きもののすみかになっています。

東山動植物園



約500種の動物や約7,000種の植物を見ることができます。

藤前干潟



たくさんの渡り鳥が飛来する国際的に重要な干潟です。2002年にラムサール条約に登録されました。



Act 3 つたえよう

自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、写真や絵、文章などで伝えます。

散歩しながら素敵だと思った自然の風景や生きものの写真を撮ったり、絵を描いてみましょう。生きものを観察することで私たちの周囲にはたくさんの生きものがいることに気付くはずです。



■絵提供:尾中優菜さん
(令和元年版名古屋市環境白書表紙絵)



風土や自然を生かした伝統文化や祭りもまちの自慢じゃな。



インターネットを使えば、世界中の人に、お気に入りの風景を紹介できるね。

Act 4 まもろう

生きものや自然、人や文化との
「つながり」を守るため、
地域や全国の活動に参加します。

名古屋市内や周辺地域等で行われる活動や講座などに参加して、生きもの同士や森・里・川・海のつながり、人の暮らしと自然のつながりなどさまざまな「つながり」を実感してみましょう。

生きもののつながりを学べる施設等

■ なごや生物多様性センター/なごや生物多様性保全活動協議会

なごやの生物多様性を守り、育てるため、市民、専門家、行政が協働で生きものの調査や保全活動を行っています。

〒468-0066 名古屋市天白区元八事五丁目230番地
TEL 052-831-8104 FAX 052-839-1695

電子メール bdnagoya@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp
ウェブサイト <http://www.bdnagoya.jp/>



「なごや生きものライブラリー」
で様々な生きもの情報を
紹介しているよ！

■ エコパルなごや(名古屋市環境学習センター)

大型スクリーンを使ったバーチャルスタジオやワークショップ、クイズラリーなど生物多様性に関する参加型体験プログラムを通して、子どもから大人まで環境について楽しく学習することができます。

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23番13号 伏見ライフプラザ13階
TEL 052-223-1066 FAX 052-223-4199

電子メール a2231066@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp
ウェブサイト <http://www.kankyo-net.city.nagoya.jp/ecopal/>



■ なごや環境大学

市民・市民団体(NPO/NGO)・企業・教育機関・行政が立場や分野をこえて協働で運営し、知識や経験、問題意識を持ち寄って学び合うネットワークです。「生物多様性」などをテーマとした講座など、子どもから大人まで、どなたでも参加できます。

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23番13号 電子メール jimu@n-kd.jp
伏見ライフプラザ13階(エコパルなごや内)
TEL・FAX 052-223-1223



名古屋市内や周辺地域においても、行政機関や企業、環境保全に取り組む団体が主催する自然観察会や調査活動が行われています。



なごや環境大学

Act 5 えらぼう

エコラベルなどが付いた
環境に優しい商品を選んで
買います。

生物多様性のことをきちんと考へて生産・販売された商品やサービスを選びましょう。これらの商品を積極的に選ぶことは、身近な買い物を通じて生物多様性の保全に参加できるとともに、生物多様性に配慮した生産者や事業者の応援にもつながります。

エコラベルを選んで環境にやさしい暮らしをしよう

MSC認証



水産資源と環境に配慮し適切に管理された、持続可能な漁業を認証し、認証漁業によって獲られた天然の水産物につけられる。

マリン・エコラベル・ジャパン認証(MEL)



水産資源の持続的利用や生態系の保全をはかるための活動を積極的に行っている漁業・養殖業・流通加工業を認証し、認証された水産物につけられる。

レイン・フォレスト・アライアンス認証



生物多様性を維持し、人々の持続可能な生活を保全することを目的に認証された農園でつくられた商品につけられる。

国際フェアトレード認証



公平な貿易や労働条件、生産地の環境保全を目的に、持続可能な生産と生産者の生活に必要な価格を保証する製品を認証する。

FSC® 認証



森林の管理や伐採が、環境や地域社会に配慮して行われているかどうかを評価し、それが行われている森林を認証し、その森林から生産された木材や木材製品(紙製品を含む)につけられる。

SGEC/PEFC森林認証



持続可能な森林経営の下で産出された木材原料や製品を認証する。

※SGEC/PEFCロゴマークはSGEC/PEFCジャパン(総合環境認証会議)の許可を受けてあります。

お買い物で
生物多様性の保全に
参加できるんだね。



生物多様性に配慮している商品をわかりやすく表示する取り組みが認証制度です。認証制度には取り組みごとに様々なマークやラベルがあります。探してみてくださいね。

